

災害支援ナースが突然撤退

新潟県医療救護班 新潟市民病院
広瀬 保夫

災害名：東北関東大震災
派遣先：宮城県石巻市
派遣期間：2011年4月14日～4月16日
活動内容：石巻女子高、住吉小学校での診療

〈4月14日〉

12時に石巻赤十字病院に到着した。2階救護本部で、救護班の登録を行い、オリエンテーションを受ける。エリア4、エリア幹事は兵庫県医師会で基本的にその配下に入る。処方薬や診療材料は、基本的に持参のものを使う。本部前にある物品も使用可能。処方も可能。点滴を要するような人は基本的に受診させる方針。

☆☆ここ数日で立ちあがったシステム「被災者患者フロー」

- ①医療機関受診が必要と判断した場合のフロー
- ②要経過観察/要処置被災者フロー
- ③要介護被災者フロー

特に入院が必要ないにしても、一般救護所で過ごすのが難しそうな場合は、②③の利用を考慮してほしい。

その後、下越病院五十嵐先生より引き継ぎを受ける。

○巡回診療では、下記の3種のシート記載する
アセスメントシート ⇒ エリア幹事に提出
救護日誌 ⇒ 石巻日赤病院本部に提出(段ボール)

避難所生活における感染管理上のリスクアセスメント ⇒ 石巻日赤病院本部に提出

○新潟県で担当しているのは、
門脇中⇒佐渡総合病院チームが担当
石巻女子高、住吉小⇒新潟県の他のチームが担当。
こちらを新潟市民病院、済生会第二病院、JMATで対応する
住吉小は、近くにグループホームあり、そこも訪問する

各救護所に看護協会からの派遣ナースがいるので、そちらにコンタクトをとる

済生会第二チーム、JMATと相談し、14日PMは新潟市民病院チームは石巻女子高、済生会とJMATは住吉小を訪問することになった。エリア幹事の兵庫県医師会チームを訪問し挨拶をした後、新潟市民病院チームは石巻女子高を訪問(15時頃になる)した。7名の患者を診察。18時 全体ミーティング(石巻赤十字病院本部、第一会議室)
・エリア幹事の出席となっているが、ぜひ出席すべき。
・救護所の集約化が議論されている
・看護協会の撤退方針に関して、議論している。

20時30分頃 宿泊所(永井生き生き交流センター)に到着し、22時就眠。

〈4月15日〉

住吉小の救護所は縮小、移転方針があるとのこと。済生会 Dr 広瀬と相談、移動の準備が必要とすることで、2日連続で同一チームで訪問することとする。

8時30分 石巻中でエリア4のミーティング
アセスメントシート提出(リーダーの携帯番号を記入してほしいとのこと)

状況報告

看護協会支援ナースの撤退についてディスカッションする。

9時30分～11時30分 石巻女子高で診療
災害支援ナースが撤退している！！

14時～16時まで、午後の診療

校長、避難者のリーダ、と今後の方針について話を聞く

4月21日に学校が開始される

段階的に学校と避難所を分けて行く

診療所は、下記のような形で考えている、とのこと

4/21頃より保健室となりの静養室

GW明けより「桜会館」の1室

もちろん、変更はありうる

18時 全体ミーティング（石巻赤十字病院、本部）

〈4月16日〉

8時30分 石巻中でエリア4のミーティング
アセスメントシート提出

状況報告

住吉小で診療

となりのグループホームを往診

石巻赤十字病院で次班と引き継ぎ

〈全体の状況〉

- 1) エリア4の中でも、上記3つの避難所は新潟県で責任を持つ、という雰囲気である。情勢の変化が無いうちは、そこの継続的なマネジメントをすることが求められている。
- 2) 看護協会の支援ナースは撤退がすすんでいる
 - ・住吉小はすでに撤退
 - ・石巻女子高は本日、突然撤退
 - ・門脇中はしばらく続きそう

3) いずれも学校の開始や、避難所の統廃合で縮小が必要となっている

診療所に関して、

- ・住吉小は4/18に縮小しつつ移転。（避難所としての存続も無いかも知れない）
 - ・門脇中は4/21頃に体育館に移転
 - ・石巻女子高は、校長に明確なビジョンがあり、学校と避難所を両立するつもりで、診療所は、4/21より保健室となりの静養室、GW明けより「桜会館」の1室へ移転の予定（変更もありうる）
- 4) 撤退に伴い、物品の回収等が必要になる
- ・新潟県が設置した救護所なので、責任を持つ必要がある

上記のような状況を考えると、新潟県チームは、今後は上記3つの避難所を巡回するのが現実的だと思います

新潟県チームは、病院から1チーム、JMAT1チームくらいで組むのが実際的かと思います。